

～南佐渡中学校 学校だより～

南 風

第14号 (H27・1・30)

佐渡市羽茂本郷47 TEL 0259-88-2102

編集；校長 知本

《「学校評価特集」第4回》

課題を共有して新たな一歩を

～ 保護者アンケートの結果から ～

前号に引き続き、今回は保護者アンケートの結果について、お知らせします。文章で寄せられましたご意見・ご要望についても、学校としての考えや改善点についてお答えします。ただし、これからPTA等と検討すべき課題については、次号以降の学校だよりや2月27日（金）のPTA総会の際に、説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

本号では、まずアンケートの数値に基づき、今後、学校と家庭が連携して改善すべき課題について提案します。次に、ご意見・ご要望について、「具体的な質問や改善意見」と、「学校運営そのものについてのご意見」に分けて回答します。

◇ 保護者アンケートの結果について

保護者アンケートの結果（％）

< A ; そう思う B ; だいたいそう思う C ; あまりそう思わない D ; そう思わない >

	生活アンケート項目	【肯定的評価】 A+B(%) 前期→後期
1	「テスト成績連絡表」を見たときなど、学習のことについて話す	87→86
2	家庭学習をやったか声をかけている	89→77
3	家庭で子どもの努力を認めほめるようにしている	86→86
4	「るるぶ(生活見直しカード)」の一言欄を記入している	62→62
5	TV・ゲーム・ネット等を2時間以内にするよう声かけをしている	67→69
6	子どもは、学校生活を楽しんでいる	90→86
7	学校は、子どもがルールやマナーを守るよう指導している	91→88

8	学校は、生活習慣の改善や家庭学習の習慣化に取り組んでいる	86→84
9	子どもは、部活動に意欲的に参加している	91→83
10	学校は、たよりなどを通して学校の様子を伝えるよう努めている	84→81
11	PTA各部の活動や総会、授業参観などに進んで参加している	80→74
12	子どものことや子育てについて相談できる人がいる	84→79
13	学校は、生徒会活動や行事を通して豊かな心を育てている(後期から)	84

< 今年度(後期)の傾向と改善の方向 >

- 6と9は、子どもの学校生活の充実度を問う質問です。2学期に入り、部活動や友人関係の悩みが大きくなる時期ですが、それが数値からも伺えます。しかし、生徒同様、年間を通して学校生活の充実度が8割を越えたことは、大きな成果です。**お子さんの様子で気になることがありましたら、できるだけ早い時期に担任や顧問にご相談下さい。**
- 7と8と10と13は、学校の取組についての評価です。前期・後期をとおして、**8～9割の肯定的な評価をいただきました。**この点については、改善点も含め「文章記述への回答」の中で触れます。
- 今回の調査で一番低下したのが、2の家庭学習についての「声かけ」です。前号の生徒アンケートでも明らかなように、やる生徒とやらない生徒の格差が広がっているばかりか、島内の中学校の平均的な家庭学習時間にさへ追いついていないのが現状です。今学校では、全校体制で改善の取組を進めています。**引き続き、ご家庭での「声かけ」をお願いします。**
- 5は、生徒アンケートの結果を見ても、憂慮すべき状況です。ネットゲームの輪が広がる中で、毎日複数の生徒が睡眠不足になり、中には保健室に体調不良を訴えてくる生徒も出る始末です。異常な事態です。変わらず7割近い保護者が「声かけ」をして下さっていますが、言葉が入らず苦慮されている状況も伺えます。買いつけた以上、**約束事も含め視聴時間などに制限を加えるのは当然のことです。担任と連携し、きっぱりとした姿勢で対しましょう。**

◇ 寄せられたご意見・ご要望について

質問や意見については、紙面の都合上趣旨を損ねないように要約して載せます。なお、カッコ中は同様の意見が寄せられた数です。

○ 学級だより、学年だよりの発行について

「たよりの発行が少ない。学級だよりや学年だよりを通し、生活の様子、問

題が起きたときの対応や教師の考え方などを、もっと知らせて欲しい」(4)
⇒ もっともなご指摘です。学級、学年、学校それぞれのたよりににはそれぞれの役割があり、学校と家庭の大切なパイプです。定期発行できるよう改善します。

○ スクールバスの運行時刻表や月行事予定表の配布について

「お迎えの関係があるので、バスの運行時刻が変わったら知らせて欲しい。運行時刻表や行事計画も配布して欲しい」(3)

⇒ 年間行事予定と月行事予定は配布しています。**たよりなども含め、お子さんに確かめて下さい。**運行時刻の変更も子どもに伝えていきます。毎回文書は出せません。又、週末の部活の予定もできるだけ早くお知らせします。

○ 授業参観の回数について(3)

「授業参観は、年に一度だけですか？学級懇談の機会が無く、学級の様子がわかりにくかった。もっと先生方とお話しする機会が欲しい」

⇒ もっともなご指摘です。授業参観・学級懇談会は、年度始・末のPTA総会時2度が定例です。先般2年生は修学旅行の説明会とセットで1度行いました。**PTAの学年委員会主催で年度の途中(例えば文化祭後位)に行うとか、3年生なら進路説明会とセットで行うなど、工夫できます。**学級や学年の状況に応じ、担任と連携してどんどん進めて下さい。担任も、お伝えすることがいっぱいあります。

○ 環境整備活動日の日程について(1)

「環境整備活動の日が部活の大会と重なり、参加できない人がいますが」

⇒ 来年度については、新グランド完成に伴い屋外の作業よりも校舎のガラス拭きなどが中心となることから、**時期についても調整しやすくなります。**

○ スクールバスの今年度の途中運行について(2)

「来年度から運行されることになったスクールバスですが、今年度途中から運行することはできませんか？」

⇒ 川茂、羽茂地区の通学方法の検討について、市の対応が遅れたという経緯があり要望の趣旨は分かりますが、スクールバスの運行については、予算措置や配車も含め年度初めからとなるので、申し訳ありませんが不可能です。

○ 行事や選挙における競争や順位付けについて(1)

「校内マラソン大会は、普通に全体と学年の順位を付ければ良いし、合唱も優秀賞などの評価があった方が良い。生徒会役員選挙もできるだけ無投票は避け、選挙運動もしっかりすべきではないか？」

⇒ まず、生徒会役員選挙についてですが、ご指摘のとおり今回は信任投票でした。又選挙運動も低調でした。学校も同じように考えておりますし、生徒にもそう教えています。また、中学生がより質の高いレベルを目指し、競争することは教育にとって有効です。合唱コンクールについては、今回は競い合いを仕組まない中で、質の高い合唱を創り上げることを目指しました。完成度の高い3年生の合唱をはじめ、どの学年の合唱も素晴らしかったと思います。今後生徒数が減り、伴奏できる生徒も少なくなることが予想される

中で、適切な方向であったと思います。また、校内マラソン大会の順位付けについては、どの学年も駅伝部や陸上部が上位を占めることが予想されることから、敢えて実力差が表れる全体の順位と、それ以外の生徒を対象とした学年ごとに頑張りを称える学年内の順位としました。

○ PTA会員や地域の方々も一緒になった活動について

「小木では、文化祭のバザーや賛助会員・地区役員など、PTA役員はもとより、地域の方々も一緒になって生徒の活動を応援していたと聞きます。役員以外にも、ボランティアなどの形で、働きかけをし活動を展開すべきではないか」「物事を学校側で決めすぎる。親と子で活動していたもの（空ビン回収、奉仕活動、バザーなど）までなくすのはどうかと思う。」（2）

⇒素晴らしいご提案、そしてもっともなご指摘ありがとうございます。小木地区には「賛助会員制度」という素晴らしい制度があり、それを体制として支えてきたのが、「地区委員制度」です。地域に根ざしたバザーや空ビン回収も、この体制をベースに行われてきました。しかし、羽茂と川茂地区には、この体制がありません。これから生徒が減少していくことも踏まえ、南佐渡中学校区をあげてこの体制をつくることは、現実的にも将来的にも極めて難しい状況です。こうしたことも踏まえ、統合前両校PTAの話し合いの中で「賛助会員制度」は1年間検討後決定する、とした経緯があります。また、羽茂地区では廃品回収の活動が無く、バザーも既製品の販売に限った形で行っていました。今年度PTAの話し合いの中で、廃品回収もバザーも十分な体制がとれないだろうという判断のもと、実施の見送りを決定しました。

しかし、これから生徒の減少に伴いPTA会費そのものが減る中で、人的にもお金の面からも南佐渡中学校の教育を支える体制をつくることが求められているのも事実です。ご提案のような地域と連携したボランティア的な組織を母体に、空ビン回収も含め、自助的な活動を展開することが求められているのです。

○ 小木、羽茂両校の行事の継承について

「それぞれの中学校で行っていた行事を全部引き継いでいくのは、いずれ生徒数の減少などで難しいでしょうが、出来る範囲で継承して欲しい」

⇒ もっともなご意見です。2つの伝統と実績のある学校が統合するわけですから、引き継ぎたい学校文化や行事は沢山あります。しかし言うまでも無く、それを一つの学校にそのまま引き継ぐことは無理です。**調整と精選が必要です。今年実施した行事は、地域と連携して取り組む行事も含め、2年間かけてすべて小木・羽茂両校で話し合い、南佐渡中学校の教育として合意し臨んだ教育です。どちらの学校に偏っているとといった教育活動は、一つもありません。今年度、柱になる行事を成功させ、土台づくりは出来ました。**

開校の今年は、一日一日がすべて新たな一歩でした。一学期は、体育館とグラウンドが無いという条件の中、生徒も教師も毎日必死でした。ここまで、何とか子どもたちの頑張りと成長する姿に励まされながらやってこれました。今、残り2ヶ月の時点に立ち、皆様から寄せられた意見に向き合いながら、2年目の一歩を踏み出す準備をしています。**次号以降も、今回載せられなかったご意見も含め、回答をお届けします。よろしくお願い致します。**